

だいすきな、コーちゃんのはなし

一年 都筑 葵

いまからすてきなニワトリのはなしをします。コースケというなまえのニワトリです。みんなはコーちゃんとよんでいます。ピヨコのとくにちゅうしゃじょうにすてられていたけれど、まっしろですべすべのきれいなニワトリになりました。まんまるの目を、いつもきよろきよろロボットみたいにうごかして、まわりのようすをじっと見ています。ほそいあしのさきつぽはトカゲみたいにガサガサしていて、ながいツメが6本はえています。このツメはともかたくて、まいにちすこしずつのびています。あんまりながくなるとあるくときにカシヤカシヤいってじやまになるので、ときどきとりようのツメきりばさみできるようにしています。

コーちゃんのツメをきるときは、みんながあつまります。わたしのおかあさんがコーちゃんを上むきにだっこして、おかあさんのいもうとのゆうちゃんがコーちゃんのあしをつかんで、わたしのおとうさんと、ゆうちゃんのだんなさんのむねさんがツメをきります。まえについている5本のツメはすぐに切れるけど、かかについている1本はふとくてなかなかきれません。いちど、でんどうのこぎりできろうとしたら、大きなおとがして、コーちゃんがぶるぶるこわがってかわいそうでした。それなので、この1本だけおじいちゃんのかうぐをつかっていることにしています。ふだんさわらせてもらえないたいせつなこうぐばこにはいつているこうぐです。コーちゃんのがたいせつだからつかわしてもらえます。

コーちゃんはとてもやさしいニワトリです。大すきなブドウをたべるとき、わたしのゆびをつつかないようにじょうずにツンツンたべます。わたしやおとうとといっしょにわをさんぽをして、だっこをさせてくれます。木の上にジャンプできるくらいあしの力がつよいけど、みんなをこうげきしません。あったかいおなかのなかに、みんなのことが大すきなきもちがいつまっています。

おひるのあいだ、コーちゃんにはわの白いこやで木のうえにすわっています。コーちゃんはこのこやにネコやカラスがちかづくと、コケーカッカッカ、コケーカッカッカと大きなこえをだします。これは、ニワトリがなかにきけんを知らせるときの名きごえです。わたしはネコもカラスもへいきだけど、コーちゃんがまもってくれるのがうれしいから、たすかったよーとトサカをなでてあげます。

コーちゃんはやさしいでいちばんすてきなニワトリです。ともだちがかっているハムスターやプードルがうらやましくなるときもあるけど、やっぱりコーちゃんがいちばんです。きつといつか、ニワトリのことをおぼえて、ずつとずつと大すきだよとおしえてあげたいです。